

転倒も不屈の力走

第75回
氷都新時代!
八戸国体



「スピードスケート成年女子2000メートルリレー決勝」他県チームの走者と接触し、転倒する本県の2走杉浦真咲(緑の帽子、八戸学院大)と真上。転倒から起き上がりハトンを受け、スタートダッシュする杉浦真は1走前中倉慶(八戸学院大)同下、Y.S.アリーナ八戸

ぶつかる。4チームは本県は思わぬアシテで行われた成年女子2000メートルリレー決勝、八戸学院大カレッジで臨んだ他県の選手が、

「必ず表彰台」4人一丸

という杉浦。すぐに立ち上り、ゾーンを越えないうよう踏みとまっていた1走前中倉からハトンを受け取り駆け出した。この衝突に絡んだ手

銀メダルを獲得した。「4人で必ず表彰台を言葉に。これまで練習に励んできた。メンバーは1、3走が2年で、エースの鬼頭だけが4年。滑り終えた先程に後輩たちが駆け寄ると、ばつと笑顔の輪が広がった。「アクシデントはあつたけれど、目標を達成できて良かった」と鬼頭。今年で競技生活に区切りをつけるうえで、自身最後の年に初めて国体の表彰台に立った。鬼頭は後輩たちにはもう一つを目標してほしいと話した。ハトンをつないだ。(工藤俊介)

成年女子
リレー「銀」

男子は成年・少年4位

少年女子7位



少年男子「結果残せた」

決勝で最下位となり、惜しくも表彰台に届かなかった少年男子2000メートルリレーの本県。それでも4選手は「レベルの高い短距離選手が多く出場する中、最低限の結果は残せた」と、4位入賞を喜び合った。レースは2走末村(八戸高専)が1走竹中(八戸高専)からハトンを受け取った際、集りからかき取った。3走佐々木(八戸光星高)とアンカー橋本(八戸西高)がをこれからの競技人生の懸念に追い上げたが、大差を詰め切ることができた。(大久保拓地)



「スピードスケート少年男子2000メートル決勝」3走佐々木快彰(八戸光星高)角からハトンを受け取るアンカー橋本孝彦(八戸西高)



最終目のスピード競技各種目で入賞した本県の選手たち

少年女子は悔し涙

○：少年女子2000
 びりレー順位決定戦で7
 位入賞した本県。2走宮
 下（八学光星高）は「順
 位戦では1位になりたか
 ったけれど、悔いの残る
 結果になってしまった」と
 悔し涙を浮かべた。

レースは1走高山（八
 戸西高）、宮下、3走上
 野（八学光星高）がそれ
 ぞれ好走し、2位でアン
 カー下村（八戸西高）に
 バトンをつないだ。下村
 も中盤まで首位を争っ
 たが、最終コーナーで粘
 りきれず3位に転落。メ
 ンバー唯一の1年生は
 「先輩方がしっかりつな
 ぎ

いしてくれたのに、自分の
 力不足で勝たせてあげら
 れなかった」と自分を責
 めた。

【スピードスケート少年
 女子2000びりレー順
 位決定戦】7位となった
 少年女子。3走上野恵理
 子（八学光星高）④から
 バトンを受け取る4走下
 村璃々（八戸西高）

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです